

令和7年度 豊田市立石畳小学校の教育

校訓「創造」

1 教育目標

郷土を大切にする心をもち、心身ともに健やかで「気づき、考え、実行する」子どもの育成をめざす。

2 めざす子ども像

気づく子 …思いやりの心をもち、互いのよさに気づき、認め合える子（徳）

考える子 …主体的に考え、深く学ぶ子（知）

実行する子…健やかでたくましく、粘り強く実行する子（体）

3 経営方針

- ① 「何のための活動なのか」「どんな力をつけたいのか」といった目的意識をもち、子どもたちが主体的に取り組む活動にする。
- ② 子どもたち一人一人をよく見て、話を聞き、その行動の背景を考え、寄り添うことで、安心して学校生活を送ることができるようとする。
- ③ 職務の使命と責任を自覚し、互いに支え合い、学び合う教師集団をめざして研鑽に努める。

- | | |
|-----|----------------------|
| (い) | 命を尊ぶ心と |
| (し) | 信念（目標に対するゆるぎなき確信）をもち |
| (た) | 大事なこと・子どもたちのために |
| (た) | 楽しみながら　たくましく |
| (み) | 自ら動き、みんなで支え合う |

石畳小学校

4 重点努力目標

① 温かい人間性の育成（徳）

- ・日頃の声かけ等、繰り返しの指導の中で、進んで気持ちの良いあいさつができる子を育てる。また、「ありがとう」を素直に言うことができ、基本的な生活習慣を身に着けた子を育てる。
- ・縦割り班活動や道徳の授業、心の教育を通して、一人一人のよさと違いを認め合い、思いやりの心で動ける子、自他の命を大切にし、人権を尊重できる子を育てる。

② 確かに学ぶ力の育成（知）

- ・研修と一人一実践を通して、授業研究に取り組むとともに、日頃の教材研究を大切にする。
- ・スピーチを充実させることで、話す力と聞く力を養い、コミュニケーション能力を高める。
- ・対話を通した学び合いの授業を増やすとともに、振り返りを充実させ、学びを深める。
- ・ＩＣＴ機器を活用し、主体的で、個別最適な学びに活かす。

③ たくましく健やかに生きる心身の育成（体）

- ・自分の命、安全を自分自身で守ることができるよう、子ども自身の安全意識を高める。
- ・食に関する指導の充実を図り、健康な生活への関心を高める。
- ・体育的活動を充実させ、体力の向上に努める。

④ 家庭・地域とともに歩む学校づくり

- ・地域の豊かな自然・文化・人材を積極的に学びに取り入れ、体験や人との触れ合いを通して故郷を愛する心を育てる。
- ・保護者や地域の意見を真摯に受け止め、地域学校共働本部の支援を受け、学校教育に活かす。
- ・学校ホームページや各種たよりを通して、情報提供に努め、家庭・地域との連携を深める。

⑤ 教職員の働きやすい環境づくり

- ・教職員が心身ともに健全に子どもたちと関われるよう、業務改善と勤務時間の適正化を図る。